



～観客を沸かせた感動の決勝戦～

第3回世界花火師競技会 結果報告

優勝国は、日本に決定しました！！

ハウステンボスでは、世界トップクラスの花火師が各国の特色ある音楽に合わせた花火演出でその技を競う「第3回世界花火師競技会」の決勝大会を、9月24日(土)に実施。国内代表の“ワキノアートファクトリー”と海外代表であるオーストラリアの“フォーティインターナショナル ファイアワークス社”による決戦の結果、見事優勝は**日本**に決定しました。

今回の審査では、20,000人以上の来場者の中で特別観覧席のチケットを購入された約2,000名のお客様が審査員となり、両国の花火を鑑賞後、お渡ししていたコインを優れていると思われたチームに投票。多くのコインを獲得した日本が世界一の栄光の座を獲得しました。

日本チームの音楽花火のテーマは「頑張ろう!ニッポン」。勇ましさの中にも繊細さを表現したわびさびある演出が素晴らしく特にクライマックスの大花火連発は大迫力で夜空に舞う様子が印象的でした。

また、惜しくも優勝を逃したオーストラリアチームは「WELCOME TO AUSTRALIA」をテーマにオーストラリアの神秘的な奥地から、山脈を抜け、海まで至る旅を表現。芸術的で花火の美しさを最大限に引き出した演出で大健闘しました。

今年は国内予選、海外予選を設けることで昨年よりも一段とレベルアップを目指した本大会。開催7日間で10万人を超える来場があり大好評の内に幕を閉じました。ぜひ、今後も更なる展開にご注目ください。なお、今回の結果はハウステンボスのホームページ内のスタッフブログで発表していますので、お客様にもご覧いただけます。

～優勝チームコメント～

全体構成として和風テイストの音楽を中心に構成を行い、東日本大震災の被害者へ追悼の気持ちを音と花火の色で表現しながら明るく元気なニッポンをイメージしました。

メッセージがどの様にしたら花火と音楽で伝えられるか何度も音楽サンプルを作り試行錯誤した結果、特にこだわったシーンは2つあります。

1つ目は、花火が持つ追悼や鎮魂の意味で追悼花火「登龍送り火」(銀色笛音)を表現したこと。

2つ目にエンディングの錦冠花火乱舞で全ての花火を錦色で統一することで、上空を黄金一色に染めて「がんばろう!ニッポン!」をイメージしたシーンです。

今回はタイトル通り、私たちの熱い気持ちが花火を通じて感じていただけたかと思えます。
【ワキノアートファクトリー 佐野】



【日本の花火の様子】

～第3回世界花火師競技会 実施概要～

【国内予選】 4/30(土) …3チーム参加

【海外予選】 7/16、30、8/13、20、27 各日(土) …5チーム参加(イギリス、マカオ、オーストラリア、アメリカ、ドイツ)

【決勝】 9/24(土)



日本「ワキノアートファクトリー」 VS オーストラリア「フォーティインターナショナルファイアークス」

【お客様のお問い合わせ先】 ハウステンボス総合案内(ナビダイヤル)

tel0570(064)110

【取材等のお問い合わせ先】 ハウステンボス広報宣伝課 高田・中野・内菌

tel0956(27)0180

<http://www.huistenbosch.co.jp> ◆  twitter &  facebook 更新中♪ぜひご登録ください◆